

市場調査資料のご案内

Fuji Keizai
Marketing Research &
Consulting Group

HVAC機器・関連ビジネス市場の全容 2024

～機器/エンジニアリング/保守・メンテナンス市場における国内空調・熱源市場の全容を徹底解明～

【市場調査資料サマリー】
2024年10月

株式会社富士経済
ソーシャル・ソリューション事業部

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-3-11
T E L : 06-6228-2020 F A X : 06-6228-2030

■ はじめに

- 本市場調査資料『HVAC機器・関連ビジネス市場の全容 2024』は、熱源機器/二次側機器のマーケット、およびこれらの設備が導入される建物需要分野の市場推移をレポート内で俯瞰的に捉えています。また、HVAC機器の設計施工/メンテナンスの主体となるプレイヤーの動向をエンジニアリング市場として業態別に調査することで、機器市場からエンジニアリング市場、建物の需要分野の市場動向を1冊のレポートで見渡すことができるマーケティングレポートとなっています。
- HVAC市場は、部材価格の高騰や省エネ規制への対応により、機器の価格が上昇していることに加え、働き方改革や人手不足による人件費の高騰が拍車をかける形で、市場形成に対して逆風が吹いている状況です。また、冷媒規制の動向も影を落としており、機器メーカー各社は2030年以降を見据えた中長期的な商品開発において効率/性能と採用冷媒を天秤にかけながら、商品開発の方向性を模索している状況となっています。
- 建築市場を見渡すと、コロナ禍が明け、人の往来が活発化したことにより、一時的に建築需要が回復した需要分野もみられます。特にデータセンター、および産業施設の一部の業種で特需の様相を呈しており、機器やエンジニアリング市場の一部も余波を受ける形で、市場が拡大している分野も見受けられます。しかしながら、2035年にかけての長期的な見通しにおいては、フロー/ストックともに施設数が減少トレンドに入ることから、今後は機器メーカー、エンジニアリング事業者ともに、更新需要の獲得が一層重要となってきます。
- エンジニアリング事業者における既存顧客への提案の切り口としては、「省エネ」や「脱炭素化」、「カーボンニュートラルの達成」がキーワードとしてあげられます。設備投資意欲の回復を追い風に、更新需要を取り込みつつ、顧客ニーズに寄り添える受け皿の整備が重要となっています。
- エンジニアリング業界においては、人手不足が深刻化していることから、熱源機器/二次側機器の省施工性と、運転状況や設備管理の省力化への対応も求められており、今後はストックビジネスの強化が必須となってきます。ストックビジネスとして今後市場の創出が期待されている分野としては、保守メンテナンスの簡素化やAIを用いた快適制御など、IoT技術の活用が重要なポイントとなっていくと想定されます。
- 末筆ながら本市場調査資料の作成にあたり、取材および情報提供などに快く御協力いただいた関連企業、団体各位に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、本市場調査資料が、空調・熱源関連機器メーカー、建設/施工関係事業者、計装関係事業者、保守・メンテナンス関係事業者、エネルギー関係事業者各位の戦略構築に役立つことができれば幸甚に存じます。

■ 調査概要

I. 調査テーマ

「HVAC機器・関連ビジネス市場の全容 2024」

II. 調査目的

・本調査レポートでは、熱源/二次側機器の市場動向を捉えると共に、需要分野別の採用動向を調査する。また、需要先である需要分野の施設数推移をフロー/ストックの両方から推計し、各需要分野において採用されている空調熱源システムの規模別、方式別の特徴や、空調関連ビジネスの導入実態について調査を行った。各熱源/二次側機器の販売施工を行っている事業者における空調分野の事業展開状況についても調査を実施した。

III. 調査項目

	対象品目	
I. 機器市場編	<熱源機器市場>	<二次側機器市場>
	1.チリングユニット	1.エアハンドリングユニット
	2.ターボ冷凍機	2.ファンコイルユニット
	3.コンデンシングユニット	3.VAV/CAVユニット
	4.吸収式冷凍機	4.冷凍・冷蔵ショーケース
	5.パッケージエアコン	5.外気処理ユニット
	6.ビル用マルチエアコン	6.全熱交換器
	7.ガスエンジンヒートポンプエアコン	7.個別空調向け室内機
	8.ボイラ（蒸気/温水）	
II. 業態別分野市場編	9.冷却塔	
	1.空調系サブコン	5.メンテナンス会社
	2.電気系サブコン	6.エレベータ保守会社
	3.計装会社	7.エネルギーサービス会社
III. 需要分野編	4.ゼネコン	
	1.産業施設	6.店舗・商業施設
	2.倉庫（冷凍・冷蔵倉庫含む）	7.宿泊施設
	3.事務所・オフィスビル	8.データセンター
	4.文教施設	9.地域熱供給
	5.医療・診療所	10.住宅（全館空調）

■ 調査概要

IV. 調査方法

弊社専門調査員による対象先（参入企業、関連企業など）に対する直接面接取材（Web会議ツールによる面談を含む）を基本に、一部電話ヒアリングを実施した。特に出典の記載のない場合は富士経済調べの数値である。

V. 調査期間

2024年7月～2024年9月

VI. 企画・調査・編集

株式会社富士経済 ソーシャル・ソリューション事業部

■ 目次

I.総括編

1. HVAC機器・関連ビジネスの市場俯瞰	3
2. 空調・熱源市場の構造実態	5
3. 空調・熱源方式別機器市場と採用傾向の詳細(熱源・二次側/中央方式・個別方式)	8
4. 空調・熱源別×需要分野別採用状況とトレンド分析	16
5. ビジネス別市場分析	22
6. 機器メーカーの新製品開発動向	26
7. 業態別ビジネス動向と事業戦略のまとめ	30
8. 省エネ・脱炭素・省人化・快適性向上への取り組み状況	32
9. HVAC市場に関する政策・規制・補助事業	39

■ 目次

Ⅱ. 機器市場編

< 熱源機器市場 >

1. チリングユニット	49
2. ターボ冷凍機	54
3. コンデensingユニット	59
4. 吸収式冷凍機	65
5. パッケージエアコン	70
6. ビル用マルチエアコン	75
7. ガスエンジンヒートポンプエアコン	80
8. ボイラ(蒸気/温水)	85
9. 冷却塔	93

< 二次側機器市場 >

1. エアハンドリングユニット	101
2. ファンコイルユニット	109
3. VAV/CAVユニット	113
4. 冷凍・冷蔵ショーケース	118
5. 外気処理エアコン	123
6. 全熱交換器	128
7. 個別空調向け室内機	133

■ 目次

Ⅲ. 業態別市場分析編

1. 空調系サブコン	141
2. 電気系サブコン	144
3. 計装会社	148
4. ゼネコン	152
5. メンテナンス会社	156
6. エレベータ保守会社	160
7. エネルギーサービス会社	163

Ⅳ. 需要分野編

1. 事務所・オフィスビル	169
2. 文教施設	175
3. 医療・診療所	181
4. 店舗・商業施設	187
5. 宿泊施設	193
6. データセンター	199
7. 産業施設	205
8. 倉庫	211
9. 住宅(全館空調)	217
10. 地域熱供給	221

■アウトプットイメージ

I. 総括編



- HVAC市場の動向について、

II. 機器市場編



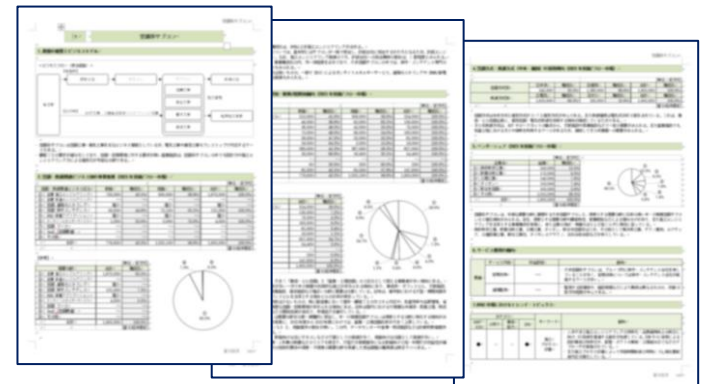
- 熱源機器市場/二次側機器市場の市場規模推移を調査、容量別や導入案件種別毎に詳細分析

III. 業態別市場分析編



- エンジニアリングや保守メンテナンスの主体となる各プレイヤーの機器採用状況、需要分野別の注力度を調査・分析

IV. 需要分野編



- HVAC機器の導入先となる建築物の市場を分野別に調査・分析

■お問い合わせ・お申し込みについて

調査資料名：株式会社富士経済 ソーシャル・ソリューション事業部

WEB掲載先：<https://www.fuji-keizai.co.jp/report/detail.html?code=162403809>

頒価 : 396,000円（税抜 360,000円）（ネットワークパッケージ版）
 253,000円（税抜 230,000円）（書籍/PDF+データ版セット（全体編））
 231,000円（税抜 210,000円）（書籍/PDF版セット）
 198,000円（税抜 180,000円）（書籍版）
 33,000円（税抜 30,000円）（電子書籍） ※オプション（電子書籍単体での購入はできません）

発刊日 : 2024年10月17日

ページ数 : 226ページ

報告書体裁 : 書籍（A4）

お申込方法 : 弊社営業担当または上記URLより、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社富士経済
ソーシャル・ソリューション事業部
Tel06-6228-2020